

科目区分	基礎科目	科目名	生活と音楽		科目コード	22Y003	担当者	中澤 伸元			
対象学生	幼児教育学科 1年生		学期区分	後期	単位数	2	担当形態	単独			
			授業形態	講義							
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	必修				
						免許・資格要件					
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
社会人として必要な、音楽の理解力を一般教養として身に付ける。 音楽の基礎、楽典、音楽の必要性について学ぶ。 歌うこととハーモニー訓練。						1. 「良心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現考力・創造断力	⑤ 実行力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	一般教養としての楽典などの音楽知識 楽譜の理解と興味関心を高める										
2.	声には人柄、知性が含まれている。声は意識次第でどうにでもなる。過去意識現在意識未来意とのつながる感覚を身に付ける。										
3.	生活におけるリズム感覚を学ぶ。拍子2. 3. 4. 6. 9. 12拍子の感覚を身に付ける。										
4.	表現する楽しさと喜び、自分らしさを身に付ける。					○	○	○	○	○	
5.											
授業方法						成績評価の方法と割合					
基礎音楽楽典の理解。表現することの楽しさを身に付ける。拍子の違いを体で体験する。リズムを感覚で感じる。音程の違いを理解し、自分の声で出せるようにする。ある程度理解できたら簡単な曲を作ってみる。意識によって結果が変わることをしっかり認識させる。						臨時試験（70%） 受講態度（30%）					
課題等への対応						授業外学修時間					
試験、課題などはその都度評価し、アドバイスをを行う。						ボイストレーニング毎日と楽典復習30分					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	ゴール設定の仕方。身体の使い方。声の使い方などの魅力についての基礎知識 音程一度から三度までの訓練。ボイストレーニングと童謡					ボイストレーニングと楽典復習					
第2回	音階と音名の違いの理解。音程一度から三度。ボイストレーニングと童謡					ボイストレーニングと楽典復習					
第3回	リズムの理解と訓練。組み合わせによる訓練。ボイストレーニングと童謡					ボイストレーニングと楽典復習					
第4回	第3回の応用練習とボイストレーニングと童謡					ボイストレーニングと楽典復習					
第5回	和音の作り方の理解。転回形の役割理解。ボイストレーニングと童謡					ボイストレーニングと楽典復習					
第6回	和音基本形、転回形の音程を歌って理解。ボイストレーニングと童謡					ボイストレーニングと楽典復習					
第7回	コード名ABCDEFGABの理解 コード付け。ボイストレーニングと童謡					ボイストレーニングと楽典復習					
第8回	各調の音階の作り方と主要三和音と副三和音。ボイストレーニングと童謡					ボイストレーニングと楽典復習					
第9回	いろいろな調の音階の作り方と調合の理解。ボイストレーニングと童謡					ボイストレーニングと楽典復習					
第10回	言葉表現、表情、感情表現方法。ボイストレーニングと童謡					ボイストレーニングと楽典復習					
第11回	曲の捉え方。表現感情肉体表現の使い方。ボイストレーニングと童謡					ボイストレーニングと楽典復習					
第12回	11回までの授業の応用練習。ボイストレーニングと童謡					ボイストレーニングと楽典復習					
第13回	12回と同じく応用練習とボイストレーニングと童謡					ボイストレーニングと楽典復習					
第14回	総合試験。楽典理解試験と実技レベル試験					ボイストレーニングと楽典復習					
第15回	14回の実技試験の続きとまとめ					ボイストレーニングと楽典復習					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	授業時に適宜プリントを配布する。					受講生へのメッセージ	日常生活で無意識に聞いている音楽への理解。基本知識を身に付け、より音楽を自分の生活の中に取り入れ癒され、おおいに楽しみ精神性を養いましょう。				
参考書等	なし										